



Smart Netcommunity

αZX

スマートフォン クライアントアプリ 取扱説明書

本書の操作説明および画面例には、Androidの機種を適宜使用しています。

スマートフォンの機種によっては操作・画面が異なる場合があります。

目次

お使いになる前に	4
特長	4
主な機能	4
システム要件	4
構成イメージ	4
本アプリケーションの動作について	5
インストール・アンインストール	7
インストール	7
アンインストール	8
バージョンアップ	9
スマートフォンの交換（機種変更）	9
各画面の名称と機能	10
待機中画面（通常モード）	10
待機中画面（ライトモード）	11
ダイヤル入力画面（通常モード）	12
ダイヤル入力画面（ライトモード）	13
回線キー画面（通常モードのみ）	14
ワンタッチ画面（モード共通）	15
発信・着信履歴画面（着信履歴）（モード共通）	16
発信・着信履歴画面（発信履歴）（モード共通）	17
発信・着信履歴画面（全ての履歴）（モード共通）	18
発信中画面（通常モード）	19
発信中画面（ライトモード）	20
着信中画面（通常モード）	21
着信中画面（ライトモード）	22
通話中画面（通常モード）	23
通話中画面（ライトモード）	24
転送画面（通常モード）	25
転送画面（ライトモード）	26
待機中メニュー画面（モード共通）	27
設定	28
無線／ネットワークの設定	28
ユーザ設定	29
保守設定	35
設定一覧	37
電話帳のインポート、バックアップ	38
電話帳のインポート（CSVファイル）	39
電話帳のバックアップ	40
電話帳一括削除	41
電話をかける／うける	42
共通説明	42
発信する	42
着信に応答する	47
通話を保留する	49
通話をパーク保留する	50
パーク保留に応答する	51
通話を転送する	52
発着信履歴をエクスポートする	53



故障かな?と思ったら55

索引57

お使いになる前に

特長

スマートフォンのクライアントアプリは、スマートフォン上で動作するアプリケーションです。スマートネットコミュニティαZXの主装置の内線端末として収容することで、発信、着信、通話などを行うことができます。スマートフォンのクライアントアプリには「alpha Phone」と「alpha Phone BYOD」の2種類のアプリがあります。2種類のアプリに機能の違いはありません。

alpha Phone 	動作保証するスマートフォン用のアプリです。
alpha Phone BYOD 	お客様が所有するBYODスマートフォン用のアプリです。動作保証はありませんが、スマートフォン2台まで無料でお試し利用ができます。

主な機能

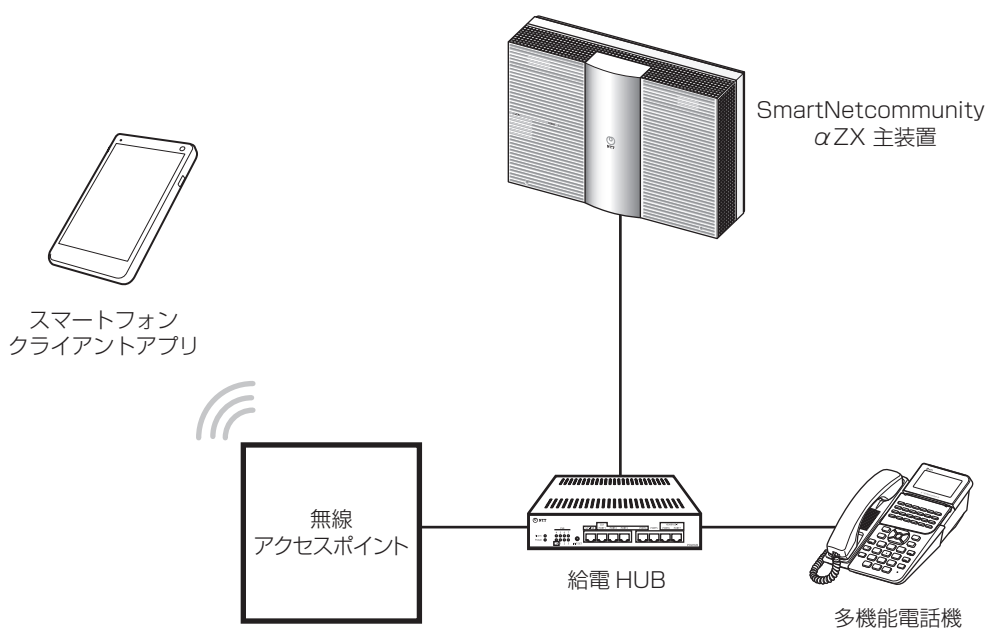
- 外線／内線発信
- 外線／内線着信
- 外線／内線通話
- 保留
- 転送

システム要件

スマートフォンのクライアントアプリは、次のシステム要件を満たすスマートフォンで利用できます。

システム要件	
OS	Android 6.0、7.0、8.0、9.0、10.0、11.0

構成イメージ



- ・スマートフォンは、主装置に接続された無線アクセスポイントにWi-Fi接続する必要があります。
- ・無線アクセスポイントは、必ず対応の機種をご利用ください。
- ・スマートフォンクライアントアプリは、スマートフォン上で常時起動しておく必要があります。

本アプリケーションの動作について

- 主装置の動作については、お使いの主装置の取扱説明書を参照してください。
- alpha Phoneをご利用いただくには、ZX-「5」SPMLTライセンス-「1」またはZX-「10」SPMLTライセンス-「1」を購入し、主装置へのライセンス登録が必要になります。また、alpha Phone BYODは、ライセンスを購入しなくても、ご利用いただけますが、お使いの主装置により、ご利用いただけるスマートフォンの台数が異なります。
- スマートフォンクライアントアプリをご利用いただくには、無線アクセスポイントの設置と、スマートフォンクライアントアプリのインストールおよび設定が必要になります。
- 無線アクセスポイントは、必ず対応の機種をご利用ください。非対応の無線アクセスポイントではご利用いただけません。無線アクセスポイントの対応機種については当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 「alpha Phone」アプリは、必ず対応のスマートフォンでご利用ください。対応機種については当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- スマートフォンクライアントアプリの設定を変更した場合、スマートフォンクライアントアプリの再起動が必要です。
- 連絡先（電話帳）の編集を行った場合は、スマートフォンクライアントアプリの再起動が必要です。
- Bluetoothヘッドセットはご使用になれません。
- スマートフォンクライアントアプリでは、下記の電話番号には電話をかけられません。
110、118、119、186110、186118、186119、184110、184118、184119
- スマートフォンクライアントアプリは、通話を切った直後に着信があると、着信音が大きくなります。
- スマートフォンクライアントアプリの保守設定の変更は推奨しません。変更すると通話ができない、通話が乱れるなどの事象が発生する場合があります。
- スマートフォンクライアントアプリは、サポート対象外の機種、OSバージョンでのご利用は動作保障できません。
- 操作方法はAndroidの機種を基準に記載しています。Androidは機種ごとに操作方法が異なるため、機種ごとの操作方法に従ってください。
- 以下のサービスキーを使用する場合は回線キー画面の内線ボタンを押して内線を捕捉した状態で操作してください。
 - ・ ボックス（再生）
 - ・ モニタ
- スマートフォンクライアントアプリが正常に動作していない場合は、スマートフォンの電源を一度切り、再び電源を入れ直してスマートフォンクライアントアプリを起動してください。
- スマートフォンのOSバージョンや性能によってガイダンスおよび通話の先頭の音が聞こえないことがあります。
- スマートフォンの受話音量を最大にして通話すると、ご使用のスマートフォンの特性により相手の声が聞こえづらくなる場合があります。
- 外部アプリとの連携機能を使用する場合は設定変更が必要になります。詳細につきましては当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- スマートフォンクライアントアプリで通話中に、スマートフォンクライアントアプリに着信があった場合、着信を通知する音が1回鳴ります。
- スマートフォンの機種によっては、着信時の着信音が設定した着信音量まで徐々に大きくなる機種があります。

- スマートフォンクライアントアプリで通話中に、3G / LTE着信したときの動作は、以下の通りとなります。3G / LTE着信した時点では、スマートフォンクライアントアプリの通話を継続しつつ、3G / LTE着信音（スマートフォンの設定による）が鳴ります。3G / LTE着信に応答したとき、スマートフォンクライアントアプリの通話は保留されます。
- 3G / LTE通話中に、スマートフォンクライアントアプリに着信したとき、受話口に「プーッ、プーッ」という音が鳴ります。ただし、お使いのスマートフォンによっては鳴らない場合があります。
- サイレントモードや通知の鳴動制限をONにしないでください。3G / LTE通話中に、スマートフォンクライアントアプリに着信したことに気づけない可能性があります。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書とともに、ご使用になっているスマートネットコミュニティαZX取扱説明書を必ずよく読み理解したうえでお使いください。
- 商標について
 - Android は、Google LLCの商標または登録商標です。

インストール・アンインストール

インストール

スマートフォンクライアントアプリのインストール方法を説明します。

- 1** Google playストアからアプリのインストールファイルをダウンロードします。
- 2** ダウンロード完了後、アプリがインストールされます。
インストール後にバージョンを確認するには以下の手順で行ってください。
スマートフォンクライアントアプリ起動⇒待機中画面で⚙️（設定）をタップ⇒「アプリ設定」をタップ⇒「ユーザー設定」をタップ⇒「バージョン表示」で表示されているバージョンを確認します。
- 3** インストール起動後、ストレージ、マイク、連絡先、電話、他のアプリの上に表示への許可を求められる場合があります。
許可しないに設定した場合、スマートフォンクライアントアプリ機能がご利用いただけません可能性があります。

アンインストール

スマートフォンクライアントアプリのアンインストール方法を説明します。

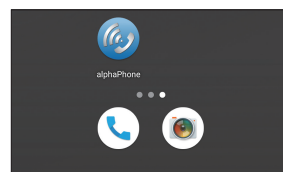
- 1 スマートフォンのホーム画面でスマートフォンクライアントアプリアイコンを長くタップします。

※アイコンは、「alpha Phone」のアプリアイコンになります。

- 2 アイコンの上に表示される「アプリ情報」をタップします。

- 3 アプリ情報画面が表示されるので「アンインストール」をタップします。

- 4 確認画面が表示されるので「OK」をタップします。
お使いのスマートフォンごとに操作方法が異なります。お使いのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。



バージョンアップ

お使いのスマートフォンの設定により、自動でバージョンアップが実行される場合があります。自動バージョンアップをOFFにする場合は、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

スマートフォンの交換（機種変更）

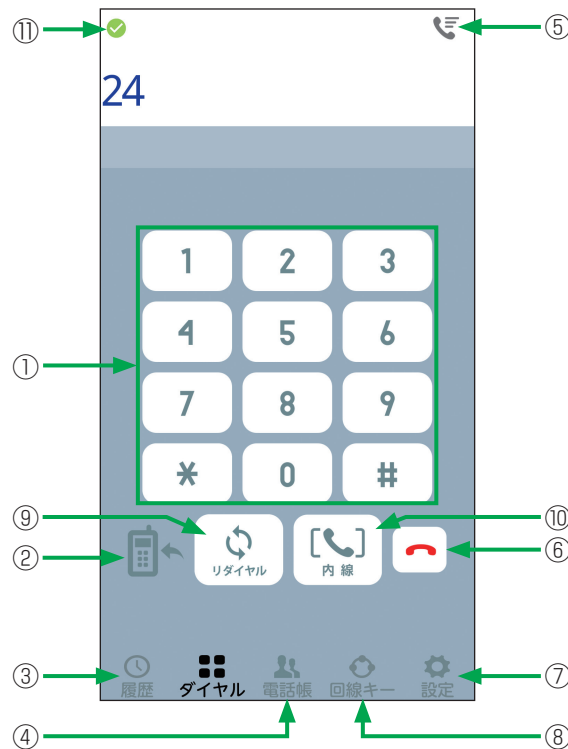
スマートフォンの交換（機種変更）によるスマートフォンクライアントアプリの設定引継ぎについては、インストール後、初期設定のポップアップが表示されますので、通常モードを選択し、35ページ「保守設定」を参照して設定してください。

各画面の名称と機能

待機中画面（通常モード）

待機中画面の説明をします。インストール時の起動後の待機中画面は、「ダイヤル」画面です。他に「履歴」「電話帳」「回線キー」「設定」に設定することができます。

■ダイヤル画面

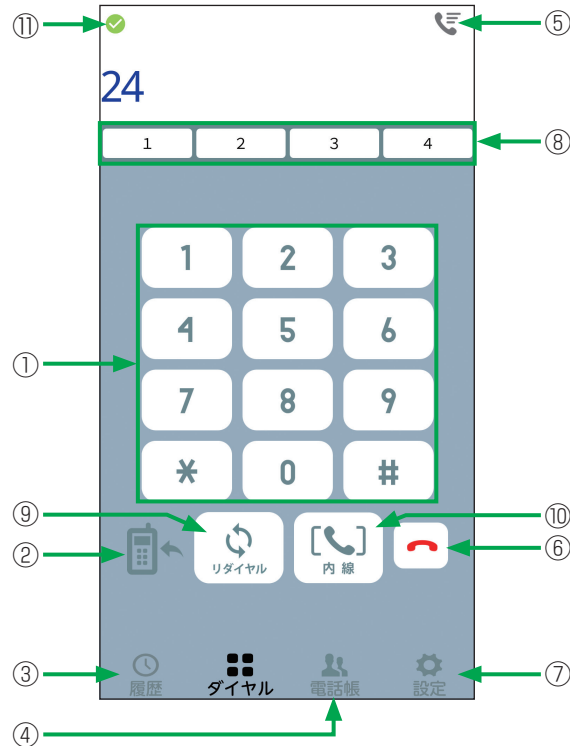


画面表示	説明
①ダイヤル	電話番号を入力するときに使用します。
②携帯電話モードで発信	スマートフォンの標準電話アプリから発信します。 スマートフォンにSIMカードが挿入されていない場合、携帯電話モードのアイコンは表示されません。
③履歴	発着信履歴を表示します。
④電話帳	連絡先を表示します。
⑤ワンタッチ	登録されているワンタッチ一覧を表示します。
⑥終話	通話を切断します。
⑦設定	端末個別設定を表示します。
⑧回線キー	回線キーの一覧画面を表示します。
⑨リダイヤル	リダイヤル発信するときに使用します。
⑩内線	内線捕捉します。
⑪活性化状態アイコン	主装置との接続状態を表示します。 ✓は、主装置と接続できている状態です。 ⚙️は、主装置と接続を試行している状態です。 ✗は、主装置と接続できていない状態です。

- スマートフォンクライアントアプリが非活性のときは「LOG IN」（ログイン）が表示されます。
「LOG IN」（ログイン）をタップすると活性化します。

待機中画面（ライトモード）

■ダイヤル画面



画面表示	説明
①ダイヤル	電話番号を入力するときに使用します。
②携帯電話モードで発信	スマートフォンの標準電話アプリから発信します。 スマートフォンにSIMカードが挿入されていない場合、携帯電話モードのアイコンは表示されません。
③履歴	発着信履歴を表示します。
④電話帳	連絡先を表示します。
⑤ワンタッチ	登録されているワンタッチ一覧を表示します。
⑥終話	通話を切断します。
⑦設定	端末個別設定を表示します。
⑧回線キー 1～4	赤点滅のボタンを押すと、着信に応答できます。空きのときにボタンを押すと外線捕捉できます。
⑨リダイヤル	リダイヤル発信するときに使用します。
⑩内線	内線捕捉します。
⑪活性化状態アイコン	主装置との接続状態を表示します。 ✓は、主装置と接続できている状態です。 ⋯は、主装置と接続を試行している状態です。 ✗は、主装置と接続できていない状態です。

- スマートフォンクライアントアプリが非活性のときは （ログイン）が表示されます。
（ログイン）をタップすると活性化します。

ダイヤル入力画面（通常モード）

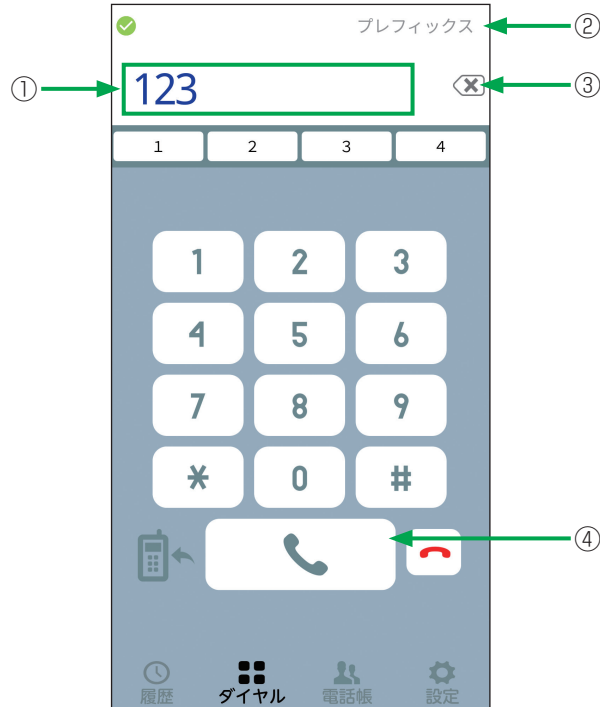
ダイヤル入力画面を説明します。



画面表示	説明
①電話番号表示欄	入力した電話番号が表示されます。
②プレフィックス	次の番号を付けて発信するときに使用します。 <ul style="list-style-type: none">• 184付加• 186付加• 国際電話 (010)• 0発信
③Delete	電話番号表示欄に入力されたダイヤルを削除する場合に使用します。タップで1桁削除、長くタップですべて削除します。
④発信	スマートフォンクライアントアプリから発信します。

ダイヤル入力画面（ライトモード）

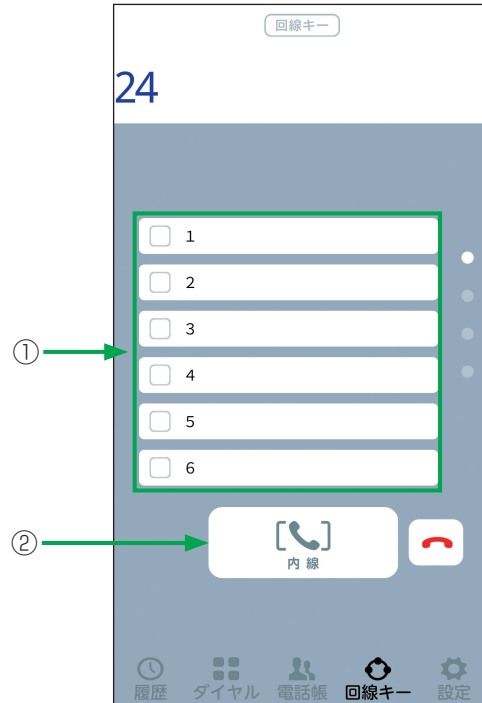
ダイヤル入力画面を説明します。



画面表示	説明
①電話番号表示欄	入力した電話番号が表示されます。
②プレフィックス	次の番号を付けて発信するときに使用します。 <ul style="list-style-type: none">• 184付加• 186付加• 国際電話（010）• 0発信
③Delete	電話番号表示欄に入力されたダイヤルを削除する場合に使用します。タップで1桁削除、長くタップですべて削除します。
④発信	スマートフォンクライアントアプリから発信します。

回線キー画面（通常モードのみ）

回線キー画面を説明します。



画面表示	説明
①回線キー 1～24	赤点滅のボタンを押すと、着信に応答できます。空きのときにボタンを押すと外線捕捉できます。上下スワイプすることで表示していない回線キーを表示することができます。
②内線ボタン	内線に着信したときに応答できます。空きのときにボタンを押すと内線捕捉できます。

ワンタッチ画面（モード共通）

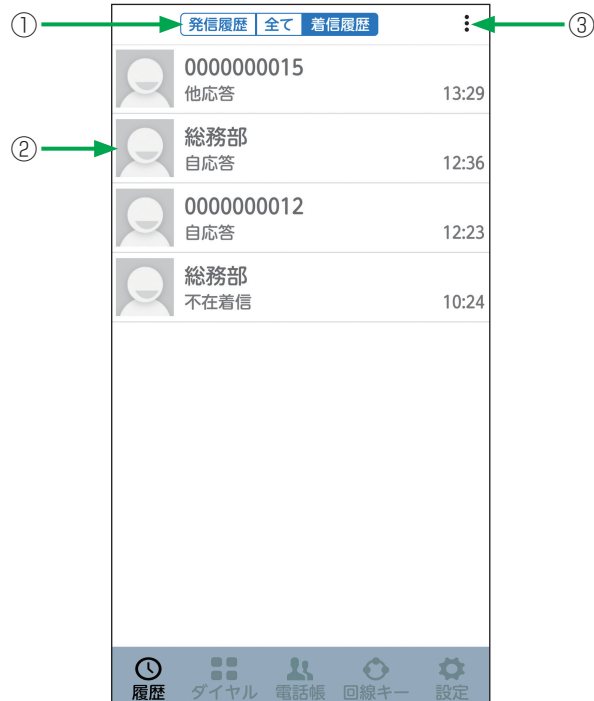
ワンタッチ画面を説明します。

ワンタッチ	
①	山田花子
	ワンタッチ02
	ワンタッチ03
	ワンタッチ04
	ワンタッチ05
	ワンタッチ06
	ワンタッチ07
	ワンタッチ08
	ワンタッチ09
	ワンタッチ10
	ワンタッチ11
	ワンタッチ12
	ワンタッチ13

画面表示	説明
①ワンタッチ	ワンタッチダイヤルの一覧を表示します。 一覧の中から選択し、ワンタッチを実行することができます。 目的のワンタッチを長くタップすると、ワンタッチダイヤルを登録、修正、削除する画面を表示します。また、ワンタッチ名称を登録、修正することができます。

発信・着信履歴画面（着信履歴）（モード共通）

着信履歴画面を説明します。

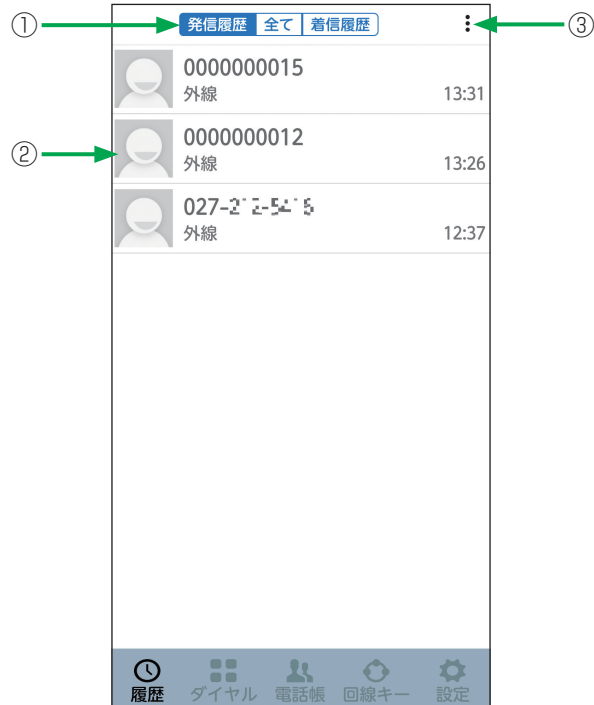


画面表示	説明
①発信履歴／全ての履歴／着信履歴切替タブ	発信履歴、全ての履歴、着信履歴の表示を切り替えるときに使用します。
②履歴表示欄	次の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 応答内容 • 相手先名称または電話番号 • 着信があったときの時刻または日付 履歴表示欄をタップすると、相手先へ発信します。 履歴表示欄を長くタップすると、ポップアップ表示がでるので、「着信履歴から消去」をタップすると履歴を消去することができます。
③メニューボタン	履歴情報のエクスポートや消去をすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 発信履歴エクスポート • 着信履歴エクスポート • 着信履歴を全件消去

- 着信履歴は発信履歴と合計して100件記録されます。

発信・着信履歴画面（発信履歴）（モード共通）

発信履歴画面を説明します。



画面表示	説明
①発信履歴／全ての履歴／着信履歴切替タブ	発信履歴、全ての履歴、着信履歴の表示を切り替えるときに使用します。
②履歴表示欄	次の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 内線、外線の種別 • 相手先名称または電話番号 • 発信したときの時刻または日付 履歴表示欄をタップすると、相手先へ発信します。 履歴表示欄を長くタップすると、ポップアップ表示がでるので、「発信履歴から消去」をタップすると履歴を消去することができます。
③メニューボタン	履歴情報のエクスポートや消去をすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 発信履歴エクスポート • 着信履歴エクスポート • 発信履歴を全件消去

- 発信履歴は着信履歴と合計して100件記録されます。

発信・着信履歴画面（全ての履歴）（モード共通）

全ての履歴画面を説明します。



画面表示	説明
①発信履歴／全ての履歴／着信履歴切替タブ	発信履歴、全ての履歴、着信履歴の表示を切り替えるときに使用します。
②履歴表示欄	次の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 内線、外線の種別または応答内容 • 相手先名称または電話番号 • 着信、発信したときの時刻または日付 履歴表示欄をタップすると、相手先へ発信します。 履歴表示欄を長くタップすると、ポップアップ表示がでるので、「履歴から消去」をタップすると履歴を消去することができます。
③メニューボタン	履歴情報のエクスポートや消去をすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 発信履歴エクスポート • 着信履歴エクスポート • 履歴を全件消去

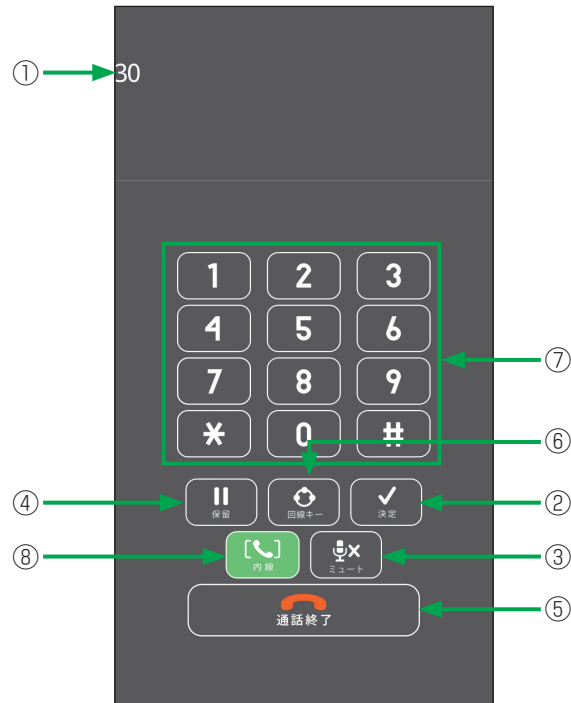
- 発信履歴、着信履歴は合計して100件記録されます。
- 発信履歴のアイコンは下記とします。



- 未応答の着信履歴は赤文字で表示します。

発信中画面（通常モード）

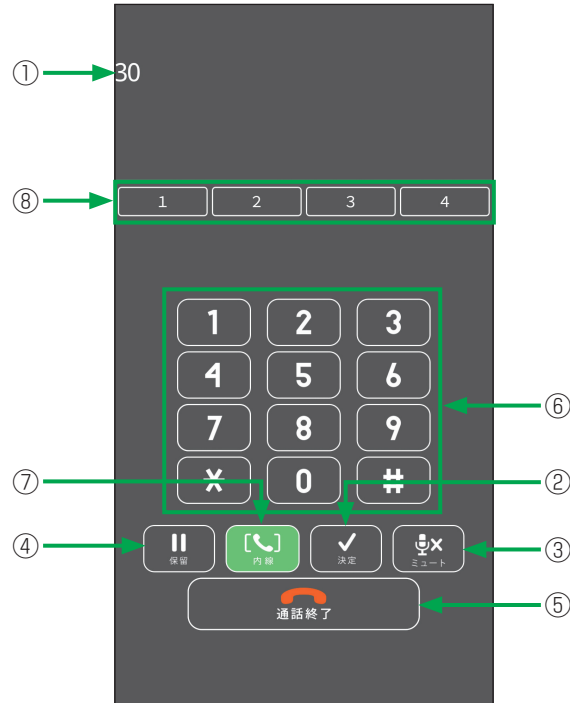
発信中画面を説明します。



画面表示	説明
①LCD表示エリア	発信先の電話番号や回線の種別などが表示されます。
②決定	発信中は使用しません。
③ミュート	送話されなくなります。
④保留	発信中は使用しません。
⑤通話終了	発信を切断します。
⑥回線キー	回線キー画面を表示します。
⑦ダイヤル	相手番号を入力するときに使用します。
⑧内線	発信中は使用しません。

発信中画面（ライトモード）

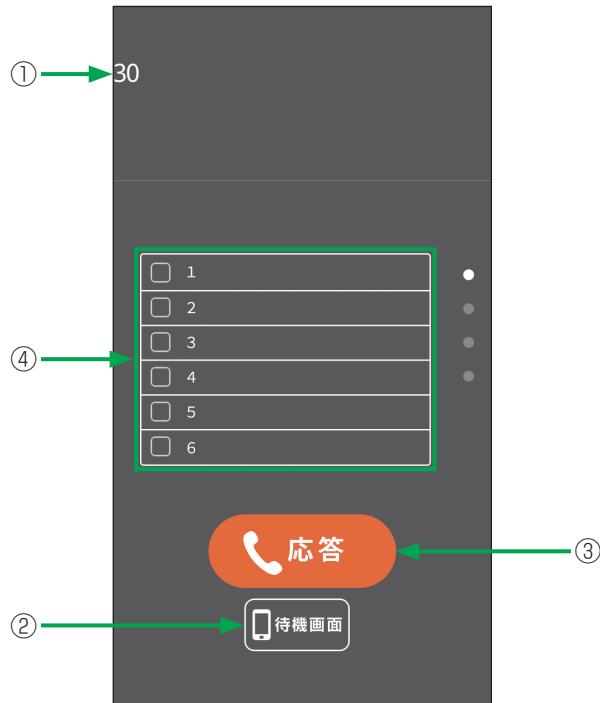
発信中画面を説明します。



画面表示	説明
①LCD表示エリア	発信先の電話番号や回線の種別などが表示されます。
②決定	発信中は使用しません。
③ミュート	送話されなくなります。
④保留	発信中は使用しません。
⑤通話終了	発信を切断します。
⑥ダイヤル	相手番号を入力するときに使用します。
⑦内線	発信中は使用しません。
⑧回線キー1～4	赤点滅のボタンを押すと、着信に応答できます。空きのときにボタンを押すと外線捕捉できます。

着信中画面（通常モード）

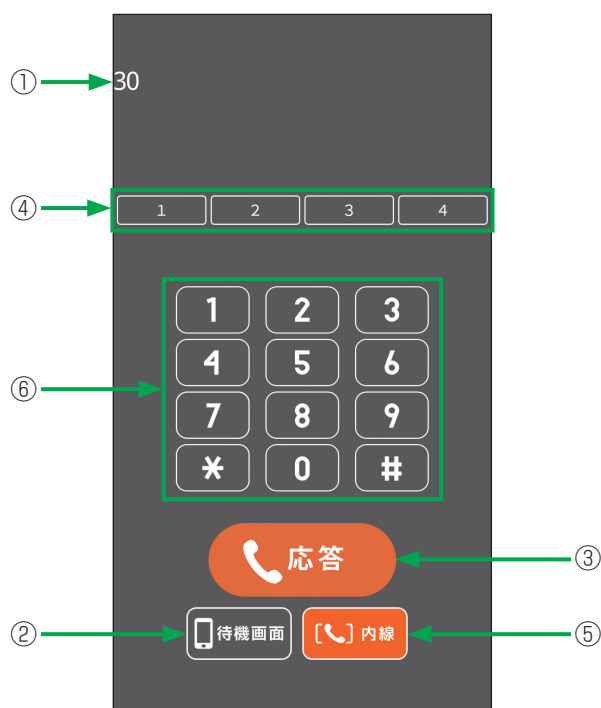
着信中画面を説明します。



画面表示	説明
①LCD表示エリア	発信元の電話番号などが表示されます。
②待機画面	待機中画面に戻ります。
③応答	着信に応答します。
④回線キー	赤点滅のボタンを押すと、着信に応答できます。空きのときにボタンを押すと外線捕捉できます。

着信中画面（ライトモード）

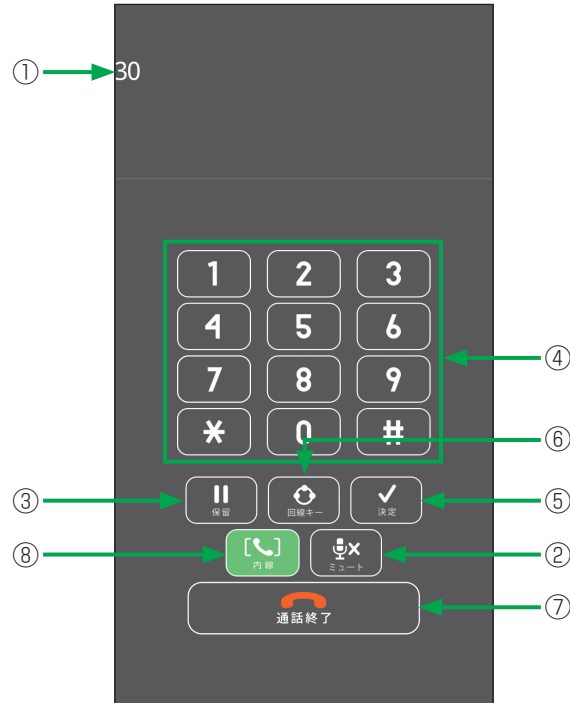
着信中画面を説明します。



画面表示	説明
①LCD表示エリア	発信元の電話番号などが表示されます。
②待機画面	待機中画面に戻ります。
③応答	着信に応答します。
④回線キー	赤点滅のボタンを押すと、着信に応答できます。空きのときにボタンを押すと外線捕捉できます。
⑤内線	赤点滅のボタンを押すと、着信に応答できます。空きのときにボタンを押すと内線捕捉できます。
⑥ダイヤル	相手番号を入力するときに使用します。

通話中画面（通常モード）

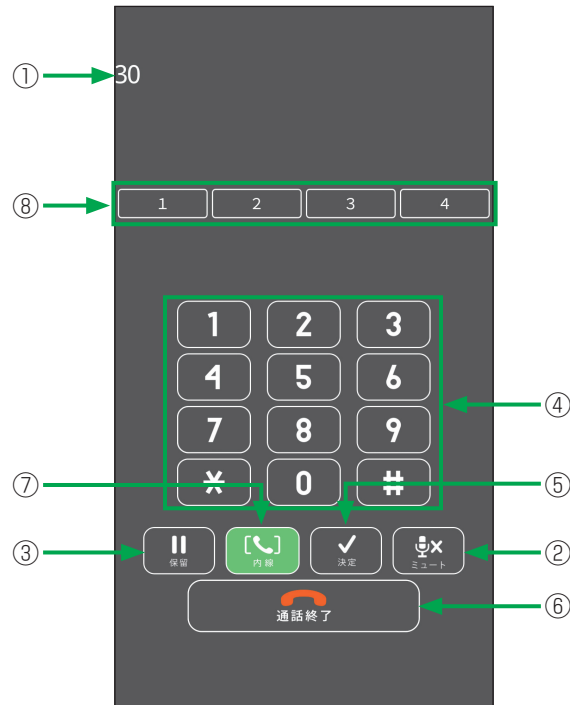
通話中画面を説明します。



画面表示	説明
①LCD表示エリア	通話中の相手の電話番号や通話時間などが表示されます。
②ミュート	送話されなくなります。
③保留	通話を保留します。
④ダイヤル	相手番号を入力するときに使用します。
⑤決定	転送などの操作が決定したときに使用します。
⑥回線キー	回線キー画面を表示します。
⑦通話終了	通話を切断します。
⑧内線	内線捕捉します。

通話中画面（ライトモード）

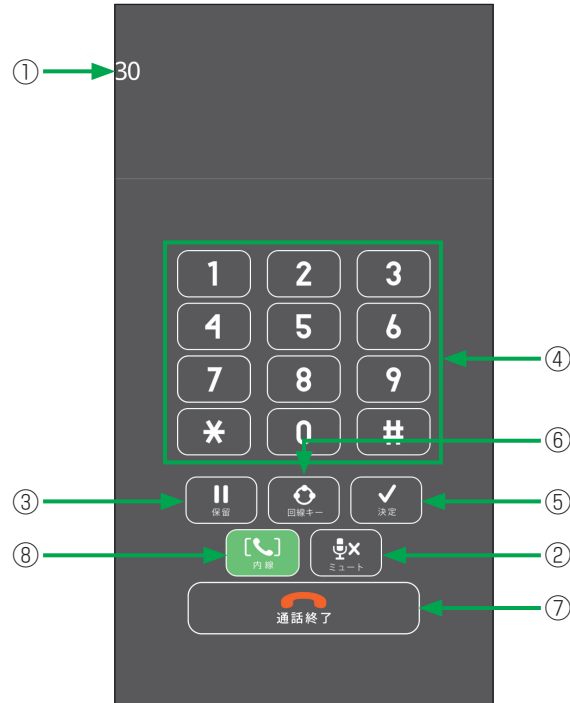
通話中画面を説明します。



画面表示	説明
①LCD表示エリア	通話中の相手の電話番号や通話時間などが表示されます。
②ミュート	送話されなくなります。
③保留	通話を保留します。
④ダイヤル	相手番号を入力するときに使用します。
⑤決定	転送などの操作が決定したときに使用します。
⑥通話終了	通話を切断します。
⑦内線	内線捕捉します。
⑧回線キー 1～4	赤点滅のボタンを押すと、着信に応答できます。空きのときにボタンを押すと外線捕捉できます。

転送画面（通常モード）

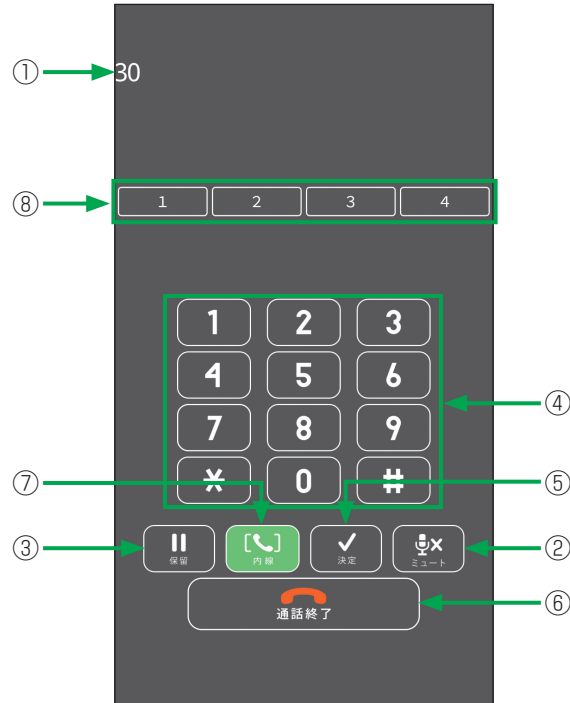
転送先と通話中の画面を説明します。



画面表示	説明
①LCD表示エリア	転送先の内線番号が表示されます。
②ミュート	送話されなくなります。
③保留	通話を保留します。
④ダイヤル	通話中にダイヤル入力をするときに使用します。
⑤決定	転送が完了します。
⑥回線キー	回線キー画面を表示します。
⑦通話終了	通話を切断し、転送が完了します。
⑧内線	内線捕捉します。

転送画面 (ライトモード)

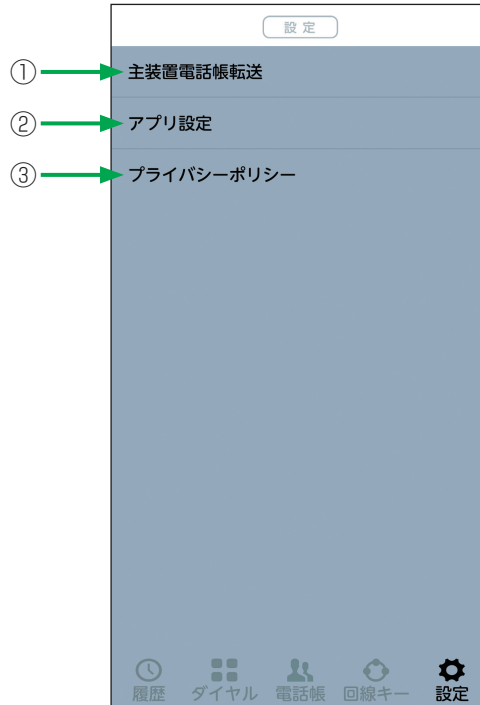
転送先と通話中の画面を説明します。



画面表示	説明
①LCD表示エリア	転送先の内線番号が表示されます。
②ミュート	送話されなくなります。
③保留	通話を保留します。
④ダイヤル	通話中にダイヤル入力をするときに使用します。
⑤決定	転送が完了します。
⑥通話終了	通話を切断し、転送が完了します。
⑦内線	内線捕捉します。
⑧回線キー1~4	赤点滅のボタンを押すと、着信に応答できます。空きのときにボタンを押すと外線捕捉できます。

待機中メニュー画面（モード共通）

設定画面を説明します。






画面表示	説明
①主装置電話帳転送	主装置電話帳の転送やバックアップを行います。
②アプリ設定	アプリの設定を行います。
③プライバシーポリシー	プライバシーポリシー画面を表示します。

設定

無線／ネットワークの設定

無線／ネットワークの設定方法を説明します。

- 1 Androidのホーム画面の  (設定) をタップします。
 -  (設定) がホーム画面に表示されていない場合は、Androidのホーム画面のアプリトレイを開き、 (設定) をタップします。



- 2 設定一覧で「Wi-Fi」をタップし「Wi-Fi」をONにします。

主装置と接続されているアクセスポイントを選択し、必要なWi-Fiの設定をしてください。

Wi-Fiの設定方法の詳細は、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。



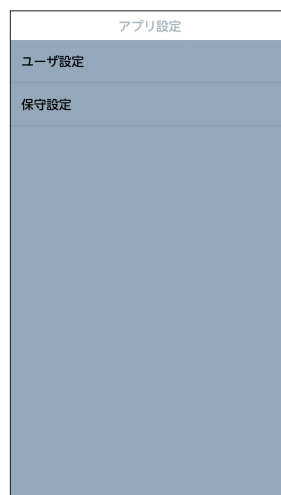
ユーザ設定

待機中画面の ⚙️ (設定) をタップし、設定画面で「アプリ設定」-「ユーザ設定」をタップするとユーザ設定画面が表示されます。ユーザ設定でできるさまざまな設定について説明します。

起動優先表示設定

アプリアイコンからの起動後の待機中画面を設定します。インストール時は、「ダイヤル」画面に設定されています。

- 1 待機中画面で ⚙️ (設定) をタップし、「アプリ設定」-「ユーザ設定」をタップします。

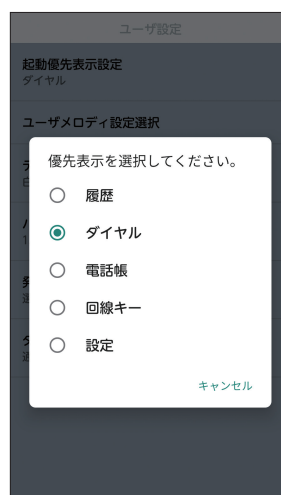


- 2 ユーザ設定画面の「起動優先表示設定」をタップします。



- 3 「優先表示を選択してください。」とポップアップ表示が出るので「履歴／ダイヤル／電話帳／回線キー／設定」をタップすると、選択できます。

- ライトモードでは「回線キー」は表示されません。



ユーザメロディ設定選択

スマートフォンクライアントアプリの着信メロディの変更ができます。あらかじめスマートフォン内にメロディを準備しておきます。

ファイルマネージャ等のアプリを使って内部ストレージ内の以下のフォルダにメロディを保存します。

NTT東日本 (alpha Phone) : /Android/data/jp.co.ntt.east.smpclient.paid/files/ringtones

NTT西日本 (alpha Phone) : /Android/data/jp.co.ntt.west.smpclient.paid/files/ringtones

NTT東日本 (alpha Phone BYOD) : /Android/data/jp.co.ntt.east.smpclient.free/files/ringtones

NTT西日本 (alpha Phone BYOD) : /Android/data/jp.co.ntt.west.smpclient.free/files/ringtones

1 ユーザ設定画面の「ユーザメロディ設定選択」をタップします。



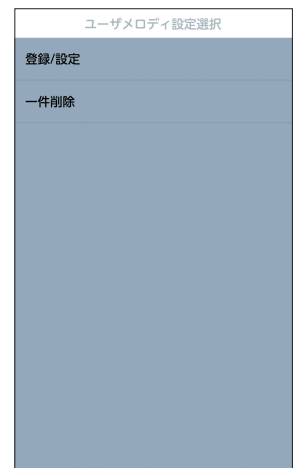
2 ユーザメロディ設定選択画面で変更したいユーザメロディをタップします。



3 「登録/設定」をタップすると、選択できます。

- スマートフォンで再生可能な音声ファイルなら着信メロディとして設定することができます。

(注意) 設定したメロディを着信時に流すためには、主装置側の着信音の設定を変更する必要があります。



テーマ設定

スマートフォンクライアントアプリのテーマ（白／青）を設定します。インストール時は「白」に設定されています。

1 ユーザ設定画面の「テーマ設定」をタップします。



2 「テーマを選択してください。」とポップアップ表示が出るので「白／青」をタップすると、選択できます。



バージョン表示

スマートフォンクライアントアプリのバージョン確認の方法を説明します。

- 1 ユーザ設定画面の「バージョン表示」に表示されます。



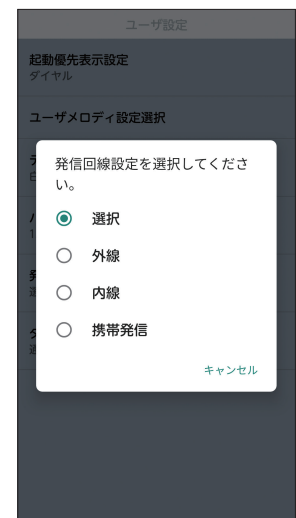
発信回線設定

スマートフォンから発信する回線を選択／外線／内線／携帯発信から選択できます。インストール時は「選択」に設定され、発信操作時にポップアップ表示で「外線／内線」を選択することができます。

1 ユーザ設定画面の「発信回線設定」をタップします。



2 「発信回線設定を選択してください。」とポップアップ表示が出るので「選択／外線／内線／携帯発信」をタップすると、選択できます。



ダイヤル表示選択

スマートフォンクライアントアプリのダイヤル表示（通常／右手用／左手用）を設定します。インストール時は「通常」に設定されています。

1 ユーザ設定画面の「ダイヤル表示選択」をタップします。



2 「ダイヤル表示を選択してください。」とポップアップ表示が出るので「通常／右手用／左手用」をタップすると、選択できます。



保守設定

保守設定では、アプリデータの初期化や、IPアドレス設定などを行うことができます。保守設定は、工事者が行いますのでお客様は操作しないでください。

スマートフォンを交換（機種変更）するには

スマートフォンを交換（機種変更）した場合にスマートフォンクライアントアプリの設定を引継ぐ方法を説明します。

■ 交換前（機種変更前）の設定を確認します。

1 待機中画面で⚙️（設定）をタップし、アプリ設定の「保守設定」をタップします。




2 「この設定変更をすると電話が利用できなくなる可能性があります。」とポップアップ表示が出るので「OK」をタップします。

- 保守設定画面が表示されます。
- TEN番号設定の設定値を確認してください。
- 主装置IPアドレス設定の設定値を確認してください。



■ 交換後（機種変更後）の設定を変更します。

- 1 待機中画面で （設定）をタップし、アプリ設定の「保守設定」をタップします。
- 2 「この設定変更をすると電話が利用できなくなる可能性があります。」とポップアップ表示が出るので「OK」をタップします。
 - 保守設定画面が表示されます。
- 3 保守設定画面の「TEN番号設定」をタップします。
- 4 「■ 交換前（機種変更前）の設定を確認します。」の手順2で確認したTEN番号設定の設定値を入力し、「OK」をタップします。
- 5 保守設定画面の「主装置IPアドレス設定」をタップします。
- 6 「■ 交換前（機種変更前）の設定を確認します。」の手順2で確認した主装置IPアドレス設定の設定値を入力し、「OK」をタップします。
- 7 「戻る」をタップします。
- 8 「再起動が必要な設定に変更がある為、再起動を行います。」とポップアップ表示したのち、再起動します。
 - 次回起動時より、交換前（機種変更前）の設定を引き継いで動作します。

設定一覧

スマートフォンクライアントアプリのメニューから各設定を呼び出すことができます。

スマートフォンクライアントアプリの設定一覧

設定項目		インストール時の設定 (初期値)		
保守設定	TEN番号設定	0~999	0	
	主装置IPアドレス設定	0.0.0.0~255.255.255.255	0.0.0.0	
	主装置識別子設定	000000000000~FFFFFFFFFFFF	000000000000	
	データポート設定	1024~65535	50000	
	通信動作設定	TOS値(音声RTP)	0~63	46
		TOS値(シグナリング)	0~63	0
	音声RTP開始ポート番号	1024~ 65532	50002	
	動作モード切替設定	αZXモード	αZXモード	
		外部連携モード		
	アプリデータ初期化	—	—	
	ログ表示	—	—	
	発番号ポップアップ表示設定	表示しない	表示しない	
		表示する		
	インポート/エクスポート (※5)	—	—	
	活性化リトライ設定 (※3)	0回~10回、20回、30回、無制限	3回	
	自動活性設定	OFF	ON	
		ON		
	回線キーモード選択 (※1)	通常モード	未設定 (※2)	
		ライトモード		
	回線キー表示設定	回線キー 1	<input checked="" type="checkbox"/> (表示する)	<input checked="" type="checkbox"/> (表示する)
			<input type="checkbox"/> (表示しない)	
		}}	}}	}}
		回線キー 24	<input checked="" type="checkbox"/> (表示する)	<input checked="" type="checkbox"/> (表示する)
<input type="checkbox"/> (表示しない)				
Wi-Fi再接続時の動作設定 (※4)	活性化する	活性化する		
	活性化しない			
優先ネットワーク設定	Wi-Fiネットワーク	Wi-Fiネットワーク		
	sXGPネットワーク			
	Wi-Fi&sXGPネットワーク			

(注意) 保守設定は、工事者が行いますので、スマートフォンを交換 (機種変更) する場合以外は操作しないでください。

(※1) 「ライトモード」設定時の回線キーは1~4のみ使用可能です。多数の回線キーを使用する場合は、「通常モード」を設定してください。

(※2) インストール時には設定されていません。起動時に設定を促す表示がでますので、設定してください。以後は設定値にしたがって動作します。

(※3) 活性化に失敗したときに再度、自動で活性化を行う回数を設定できます。無制限に設定した場合、活性完了するまで活性化を繰り返します。

(※4) スマートフォンのWi-Fiハンドオーバー機能をご使用の場合は、「活性化しない」を設定してください。

(※5) インポート/エクスポートでは、以下のフォルダへアプリ設定データの参照/保存を行います。

NTT東日本 (alpha Phone) : /Android/data/jp.co.ntt.east.smpclient.paid/files/setting

NTT西日本 (alpha Phone) : /Android/data/jp.co.ntt.west.smpclient.paid/files/setting

NTT東日本 (alpha Phone BYOD) : /Android/data/jp.co.ntt.east.smpclient.free/files/setting

NTT西日本 (alpha Phone BYOD) : /Android/data/jp.co.ntt.west.smpclient.free/files/setting

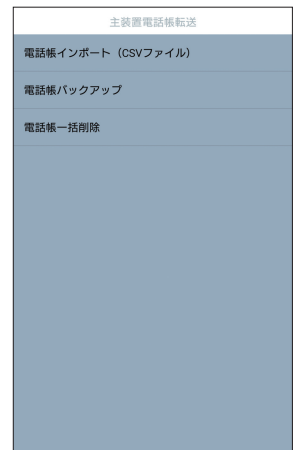
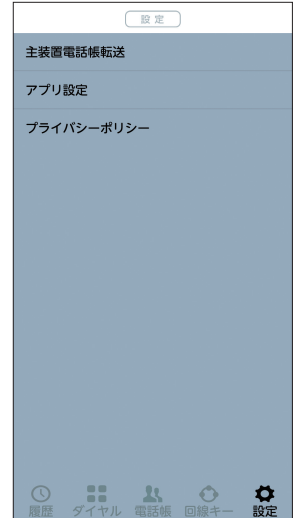
電話帳のインポート、バックアップ

待機中画面の⚙️（設定）をタップし、設定画面で「主装置電話帳転送」をタップすると「主装置電話帳転送」画面が表示されます。主装置電話帳のインポートやバックアップについて説明します。

1 設定画面の「主装置電話帳転送」をタップします。

「主装置電話帳転送」では、以下の項目を選択することで主装置電話帳のインポート、アプリの主装置電話帳のバックアップ、アプリの主装置電話帳の一括削除ができます。

- 電話帳インポート(CSVファイル)
- 電話帳バックアップ
- 電話帳一括削除



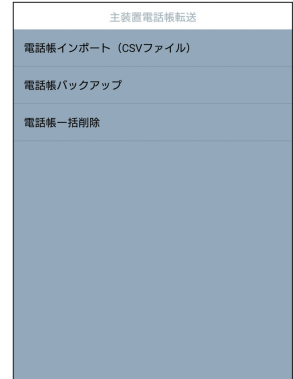
(注意)

- 電話帳インポート (CSVファイル) / 電話帳バックアップでは、以下のフォルダへ電話帳データの参照/保存を行います。
 - NTT東日本版「alpha Phone」: /Android/data/jp.co.ntt.east.smpclient.paid/files/phonebook
 - NTT西日本版「alpha Phone」: /Android/data/jp.co.ntt.west.smpclient.paid/files/phonebook
 - NTT東日本版「alpha Phone BYOD」: /Android/data/jp.co.ntt.east.smpclient.free/files/phonebook
 - NTT西日本版「alpha Phone BYOD」: /Android/data/jp.co.ntt.west.smpclient.free/files/phonebook
- 電話帳インポート (CSVファイル) では、スマートフォンの標準電話帳に主装置電話帳を転送します。転送した電話帳属性のインスタントメッセージに「alpha phone」が付与されます。ただし、機種によって付与されるラベルは異なります。
- 電話帳バックアップでは、「alpha phone」が付与された連絡先のみを抽出/保存します。
- 電話帳一括削除では、「alpha phone」が付与された連絡先のみを一括削除します。

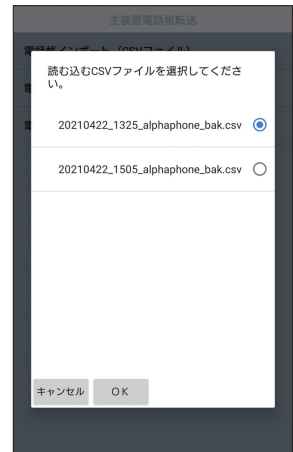
電話帳のインポート (CSVファイル)

主装置のWeb設定からエクスポートした主装置電話帳 (CSVファイル) を使用して、主装置に登録されている主装置電話帳を、ご使用のスマートフォンに転送することができます。転送方法について説明します。

1 主装置電話帳転送画面の「電話帳インポート (CSVファイル)」をタップします。



2 読み込むCSVファイルを選択します。



3 主装置電話帳の転送が完了すると右のようなポップアップが表示されますので「OK」をタップします。



ワンポイント

- CSVファイルの容量が大きい場合、転送に時間がかかる場合があります。
- 主装置電話帳の転送中は、アプリの着信やその他操作ができません。
- 主装置電話帳の転送中は、アプリを停止させないでください。またスマートフォンの電源を切らないで下さい。
- 一度転送した主装置電話帳を更新したい場合には、電話帳一括削除を行った後に主装置電話帳を転送するか、更新したい電話帳データ (CSVファイル) のみ転送を行ってください。

電話帳のバックアップ

スマートフォンに転送した主装置電話帳のバックアップ方法について説明します。

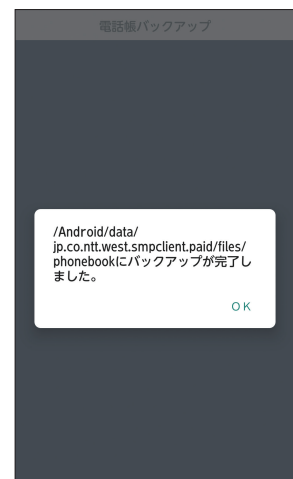
1 主装置電話帳転送画面の「電話帳バックアップ」をタップします。



2 右のようなポップアップが表示されますので「OK」をタップします。



3 スマートフォンにインポートした主装置電話帳のバックアップが完了すると右のようなポップアップが表示されますので「OK」をタップします。



ワンポイント

- スマートフォンに転送した主装置電話帳ファイルの容量が大きい場合、バックアップに時間がかかる場合があります。
- スマートフォンに転送した主装置電話帳のバックアップ中は、アプリの着信/操作ができません。
- バックアップした主装置電話帳のファイル名は、バックアップ時の年月日-時間が付与されて保存されます。
(例) YYYYMMDD_HHMM_alpha phone_bak.csv
- 主装置電話帳のバックアップでは、電話帳属性のインスタントメッセージに「alpha phone」が付与された連絡先のみを抽出し、CSVファイルとして保存します。

電話帳一括削除

主装置電話帳の一括削除について説明します。

本操作の前に、主装置電話帳のバックアップを行うことを推奨します。

1 主装置電話帳転送画面の「電話帳一括削除」をタップします。



2 右のようなポップアップが表示されますので「OK」をタップします。



3 右のようなポップアップが表示されますので「OK」をタップします。



ワンポイント

- 主装置電話帳ファイルの容量が大きい場合、一括削除に時間がかかる場合があります。
- 主装置電話帳の一括削除中は、アプリの着信/操作ができません。
- 主装置電話帳の一括削除では、電話帳属性のインスタントメッセージに「alpha phone」が付与された連絡先のみを削除します。

電話をかける／うける

共通説明

LCD表示エリアに表示される内容は、お使いの主装置のタイプにより異なります。各画面例にはLCD表示エリアを使用しています。

発信する


スマートフォンクライアントアプリからの発信方法を説明します。

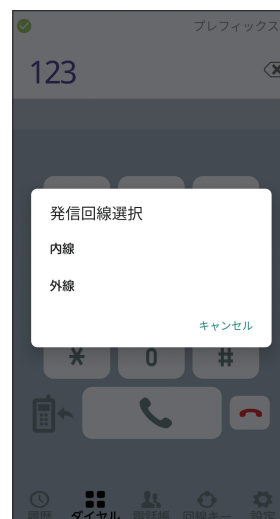
ダイヤル入力して内線発信する

スマートフォンクライアントアプリからの内線発信方法を説明します。

1 待機中画面（ダイヤル画面）で内線番号を入力します。



2 （発信）をタップします。
「発信回線選択」とポップアップが表示されたときは、「内線」をタップします。





ダイヤル入力して外線発信する

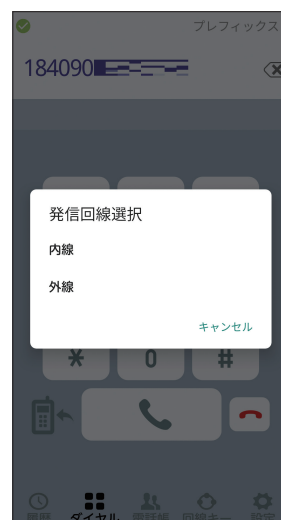
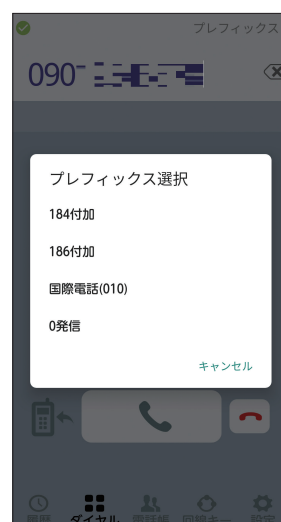
スマートフォンクライアントアプリからの外線発信方法を説明します。

1 待機中画面（ダイヤル画面）で外線の電話番号を入力します。



2 （発信）をタップして外線発信を行います。「発信回線選択」とポップアップ表示されたときは、「外線」をタップします。

- （発信）をタップする前に「プレフィックス」をタップすると、プレフィックス選択ダイアログが表示されます。表示された「184付加」、「186付加」、「国際電話（010）」、「0発信」のうち1つをタップすると、選択したダイヤルが表示されているダイヤルの先頭に追加されます。
- 内線保留中に外線発信する場合は、回線キーを押し、「ツー」という発信音を確認してからダイヤルしてください。



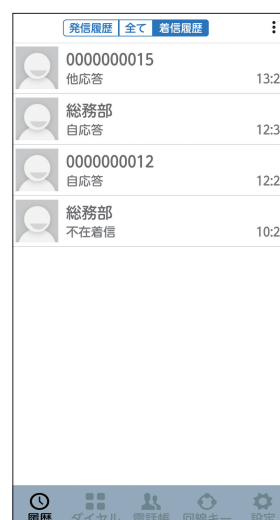
発信・着信履歴から発信する

スマートフォンクライアントアプリの発信・着信履歴からの発信方法を説明します。

1 待機中画面で🕒（履歴）をタップします。



2 発信・着信・全ての履歴画面で、履歴欄の相手先名称または電話番号をタップして、発信します。



ワンポイント

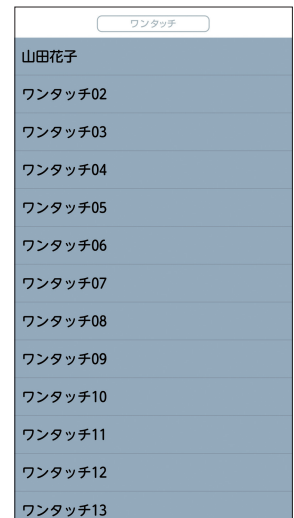
- 履歴から発信する場合に利用される回線は、発信時に利用した回線または着信時に利用された回線を自動で選択し発信します。ただし、typeS・M主装置の場合は内線発信の履歴は残りません。
- 回線が他で利用中の場合は受話に「ブーッ、ブーッ」という音が鳴り、発信できないことがあります。空いている回線を自動で選択し発信する場合は主装置の設定が必要なため、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

ワンタッチダイヤルで発信する

1 待機中画面で☰ (ワンタッチ) をタップします。



2 ワンタッチ画面でワンタッチ名称をタップして発信します。



ワンポイント

- 登録できるボタン操作は1つの操作を1桁と数え、32桁まで登録できます。よくお使いになるサービスを登録しておくと便利です。
- 登録しているワンタッチキーを確認するには
ワンタッチ画面で、確認するワンタッチキーを長く（1秒以上）タップし、表示されたポップアップメニューの [ワンタッチ登録/修正] をタップする、もしくは表示されたポップアップメニューの [登録内容] にも登録内容が表示され、内容を確認することができます。
- ワンタッチキーに内線番号または外線番号を登録するには
 - ①ワンタッチ画面で、登録するワンタッチキーを長く（1秒以上）タップします。
 - ②表示されたポップアップメニューの [ワンタッチ登録/修正] をタップします。
 - ③ [回線キー] をタップし、内線番号を登録する場合はリストから [内線] をタップします。
外線番号を登録する場合は登録したい [LK (数字)] をタップします。
 - ④登録する内線番号または外線番号をダイヤルキーでタップします。
 - ⑤ [登録] をタップします。
- 登録した電話番号を変更するには
 - ①ワンタッチ画面で、変更するワンタッチキーを長く（1秒以上）タップし、表示されたポップアップメニューの [ワンタッチ登録/修正] をタップし、変更する電話番号をタップします。
 - ② [登録] をタップします。
- ワンタッチキーの登録中の内容を1桁消去するには
ワンタッチ画面で、[1文字削除] をタップします。タップすると、一番右の桁が消去されます。
- ワンタッチキーの登録内容をすべて削除するには
ワンタッチ画面で、変更するワンタッチキーを長く（1秒以上）タップし、表示されたポップアップメニューの [削除] をタップします。

電話帳から発信する

電話帳からの発信方法を説明します。

1 待機中画面で  (電話帳) をタップします。



2 相手先の名称をタップします。

- 検索欄をタップするとキーボードが表示されるので、相手の登録名を入力して検索することができます。



3 電話番号をタップして発信します。


- 内線発信する場合は、電話番号の種別(ラベル)に予め「内線」と登録しておく必要があります。
- 電話番号の種別(ラベル)に「内線」と登録しない場合、外線発信となります。

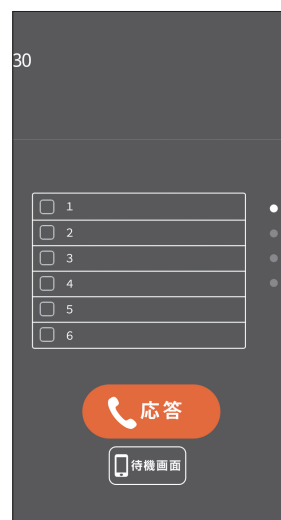


着信に应答する


スマートフォンクライアントアプリでの着信の应答方法を説明します。スマートフォンが画面ロック中の場合や、他のアプリを起動中でも着信中画面が表示されます。

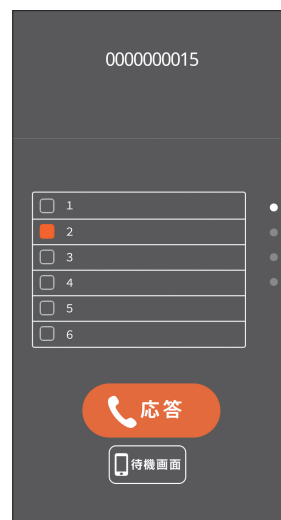
内線着信に应答する

- 1 着信中画面で  (応答) をタップして应答します。
 - 着信鳴動中にスマートフォンの音量キー「+」「-」ボタンを操作すると着信音量を変更することができます。



鳴動している外線着信に应答する

- 1 着信中画面で  (応答) をタップして应答します。
 - 赤点減している外線キーをタップします。(主装置の設定によっては操作は不要です。)
 - 着信鳴動中にスマートフォンの音量キー「+」「-」ボタンを操作すると着信音量を変更することができます。



鳴動していない外線着信に応答する

- 1 スマートフォンクライアントアプリに着信すると回線キーが赤点滅します。赤点滅している回線キーをタップして応答します。

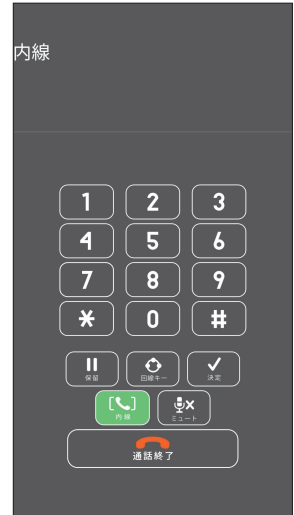



通話を保留する

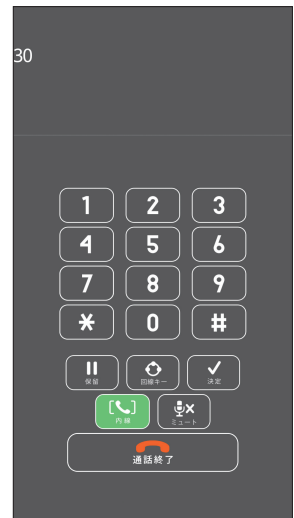
スマートフォンクライアントアプリでの通話の保留方法を説明します。

内線通話を保留／保留解除する

1 通話中画面で  (保留) をタップすると通話を保留します。



2  (内線) をタップし、保留を解除します。

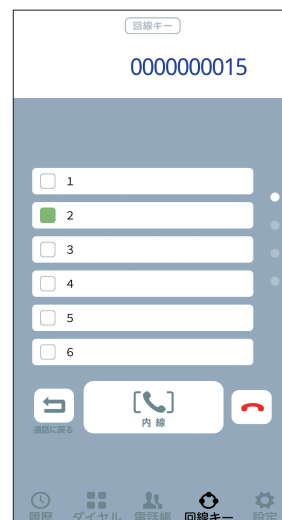


通話をパーク保留する

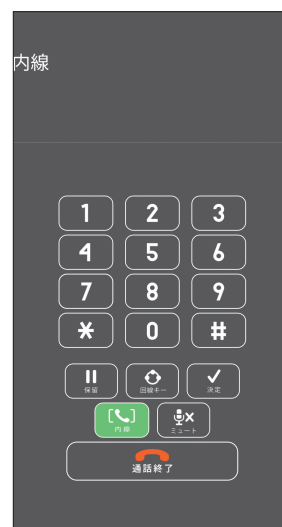
スマートフォンクライアントアプリでの通話のパーク保留方法を説明します。

通話をパーク保留する

1 通話中画面で回線キーをタップします。



2 パーク保留を設定している回線キーをタップします。

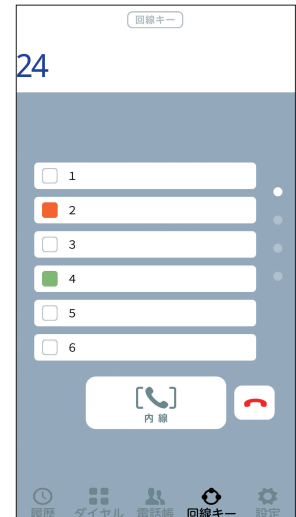


パーク保留に回答する

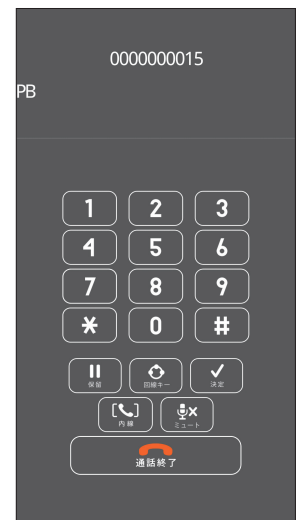
スマートフォンクライアントアプリでのパーク保留に回答する方法を説明します。

パーク保留に回答する

1 待機中画面で回線キータブをタップします。




2 パーク保留されている回線キーをタップします。

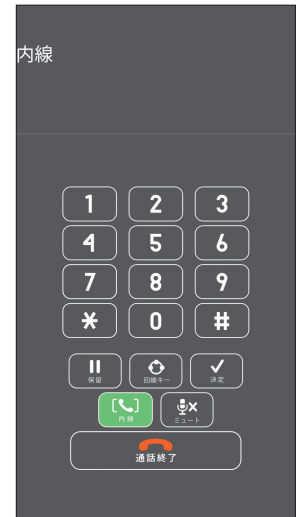


通話を転送する

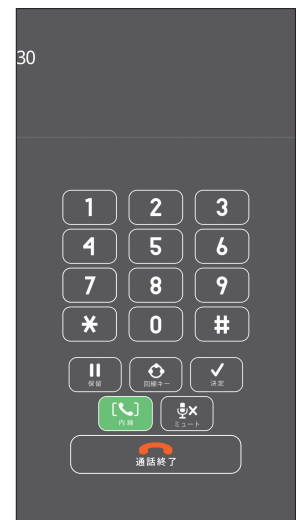
スマートフォンクライアントアプリでの通話の転送の方法を説明します。

通話を保留にして内線に転送する

1 通話中画面で  (保留) をタップし通話を保留します。



2 相手の内線番号を入力します。
• 相手の応答がない場合は  (終話) をタップし、 (内線) をタップすると通話に戻ります。



3 相手が応答した後、 (終話) をタップします。
• 通話の転送が完了し待機中画面に戻ります。



ワンポイント

●通話を他の外線に転送するには

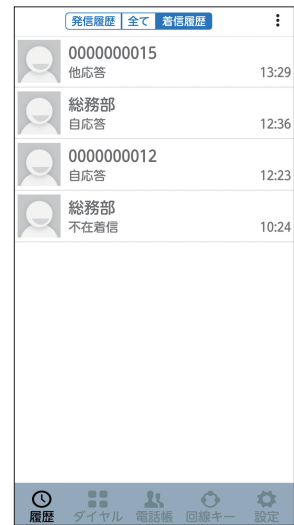
1. お話し中の相手の方に待っていただくように伝え、通話中画面で保留をタップし通話を保留します。
2. 回線キーをタップします。
3. 空いている回線キーをタップし、「ツー」という発信音を確認します。
4. 電話番号をダイヤルします。
5. 相手の方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、決定キーをタップします。
6. 終話をタップします。

(注意) 外線通話を他の外線に転送するためには、主装置側の転送の設定を変更する必要があります。

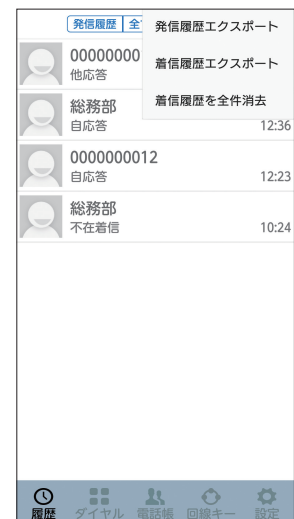
発着信履歴をエクスポートする

スマートフォンクライアントアプリの発着信履歴をエクスポートすることができます。

1 待機中画面で🕒（履歴）をタップし、メニューボタンをタップします。

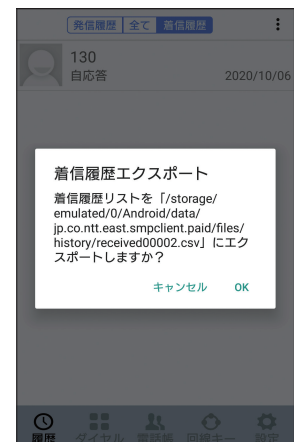


2 メニュー画面で「着信履歴エクスポート」をタップします。



3 「着信履歴エクスポート」とポップアップ表示が出るので「OK」をタップします。

- 発着信履歴はcsv形式で出力されます。
- 記録されている履歴のうち、一度もエクスポートされていない履歴だけがエクスポートされます。



4 エクスポートが完了すると「エクスポート完了」とポップアップ表示が出るので「OK」をタップします。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください
スマートフォンクライアントアプリが活性化しない	主装置にライセンス登録がされていない	主装置にライセンス登録をしてください。 購入されたライセンス以上のスマートフォンにアプリケーションをインストールしないでください。 ライセンス以上の台数にインストールした場合、動作保証しません。機種変更する場合は、アンインストール/インストールしてください。
	ログインできていない	スマートフォンクライアントアプリのログイン時に使用するアカウント情報（端末番号）は、複数のスマートフォンで同じものを使用しないでください。
	Wi-Fi接続していない	ご使用のスマートフォンの無線設定、およびアクセスポイントの設定を見直してください。 また、アクセスポイントの設定を変更した場合は、スマートフォンクライアントアプリを再起動する必要があります。
スマートフォンクライアントアプリに着信しない	Wi-Fi接続していない、または、スマートフォンクライアントアプリが起動していない	スマートフォンを一定時間操作しない場合に、「画面消灯」や「低電力モード」の動作により、スマートフォンのWi-Fiが接続されない、またはスマートフォンクライアントアプリが起動していない状態になることがあります。 その際、スマートフォンクライアントアプリはご利用いただけません。スマートフォンクライアントアプリを再起動するか、ログインボタンを押すか、「画面消灯」や「低電力モード」時の設定を変更する必要があります。
		スマートフォンクライアントアプリは、アクセスポイントの圏外に移動し、数分経過することにより、主装置との接続が切断された後、再度、アクセスポイントの圏内に移動した場合は、自動的に主装置に接続することができないため、スマートフォンクライアントアプリを再起動するか、ログインボタンを押して、再接続する必要があります。 また、活性化リトライ回数設定を変更いただくと、アクセスポイントの圏内に移動した際に主装置に接続できることがあります。設定については、P.37設定一覧を参照してください。
		ご使用のスマートフォンにバックグラウンドにいるアプリの動作を制限する機能を持ったセキュリティソフト等がインストールされている場合、スマートフォンクライアントアプリが起動していない状態になることがあります。 その場合は、スマートフォンクライアントアプリを再起動する必要があります。
		Wi-Fi設定を静的にする場合は、動作環境に適したIPアドレスを設定してください。ルータ、DNSの設定に適していないIPアドレスを設定した場合、Wi-Fiが切断され着信が受けられません。

こんなときは	原因	確認してください
通話が途切れる、音声が遅れる	スマートフォンが高負荷となっている	スマートフォンクライアントアプリの通話は、データ通信（ベストエフォート）機能を使用するため、以下のような状況では通話品質に影響がでたり、通話できないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • スマートフォンがスリープ状態から復帰した直後。 • スマートフォンが高負荷のとき。 • スマートフォンクライアントアプリが接続されている、無線アクセスポイントやHUBに大量のデータ通信が発生したとき。
	アクセスポイントからの電波が弱い	スマートフォンクライアントアプリは、機種によってハンドオーバーできない場合があります。よって、通話しながら移動することで、接続しているアクセスポイントからの電波が弱くなった場合、音声の遅延や音途切れおよび通話切断が発生する場合があります。
	同時に話している	スマートフォンクライアントアプリで通話中に、両者が同時に話すと、通話が途切れることがあります。
	他の通話アプリケーションと同時に使用している	スマートフォンクライアントアプリと他の通話アプリケーションで同時に通話しないでください。他の通話アプリケーションで同時通話した場合、通話品質に影響がでたり、通話できないことがあります。
着信音が鳴らない、通話が聞こえない	サイレントモードに設定されている	スマートフォンをサイレントモードにして使用しないでください。発信音が聞こえなかったり、通話ができないことがあります。
	他のアプリケーションを操作している	スマートフォンクライアントアプリの着信中、通話中に他のアプリケーションを操作しないでください。操作した場合、着信音が鳴らなかったり、通話できない場合があります。
発信中、通話中に画面が表示されない	近接センサが反応している	スマートフォンの近接センサが反応すると画面が隠れます。
画面表示が切れる	フォント設定が合っていない	スマートフォンクライアントアプリは、スマートフォンの画面解像度、フォントサイズによって、画面の表示が切れたり、説明通りに表示されない場合があります。
		スマートフォン設定の「フォント」と「テーマ設定」は標準を使用してください。変更した場合、画面が正常に表示できない場合があります。
発番号ポップアップが表示されない	画面ロック設定になっている	発番号ポップアップ表示を利用する場合は、画面ロックしないでください。また画面がすばやく切り替わった場合、発番号ポップアップが表示されない場合があります。

索引

アルファベット

Android	
アンインストール	8
インストール	7
システム要件	4
バージョンアップ	9
無線／ネットワーク設定	28
Delete	12、13
LCD表示エリア	19、20、21、22、23、24、 25、26
LOG IN	10、11
Wi-Fi	
設定	28

五十音

【ア行】

アンインストール	8
インストール	7
主な機能	4

【カ行】

回線キー	10、11、14、19、20、21、22、 23、24、25、26
画面の見かた	
回線キー画面	14
待機中画面	10、11
待機中メニュー画面	27
ダイヤル入力画面	12、13
着信中画面	21、22
着信履歴画面	16
通話中画面	23、24
転送画面	25、26
発信中画面	19、20
発信履歴画面	17
ワンタッチ画面	15
携帯電話モードで発信	10、11
決定	19、20、23、24、25、26
構成イメージ	4
ご使用にあたってのお願い	6

【サ行】

システム要件	4
終話	10、11
商標	6
スマートフォンクライアントアプリアイコン	4、8
設定	10、11

【タ行】

対応OS	4
待機画面	21、22
ダイヤル	10、11、19、20、22、23、24、 25、26

着信メロディ

着信履歴

エクスポート	53
最大保存件数	16、17、18
消去	16、17、18
着信履歴画面	16
電話発信	44
発信履歴／全ての履歴／着信履歴切替タブ	16、18
履歴表示欄	16、18

電話

応答	21、22、47
外線着信	47、48
外線発信	43
転送	52
通話終了	19、20、23、24、25、26
内線着信	47
内線発信	42
保留	19、20、23、24、25、26、49、50、 51
ミュート	19、20、23、24、25、26

電話帳

電話帳一括削除	38、41
電話帳インポート	38、39
電話帳バックアップ	38、40
電話発信	46

電話番号表示欄

特長	4
----	---

【ナ行】

内線ボタン	14
-------	----

57

【ハ行】

バージョンアップ	9
発信	12、13
発信履歴	
エクスポート	53
最大保存件数	16、17、18
消去	16、17、18
電話発信	44
発信履歴画面	17
発信履歴／全ての履歴／着信履歴切替タブ	17、18
履歴表示欄	17、18
プレフィックス	12、13
本アプリケーションの動作について	5、6

【ヤ行】

ユーザ設定	29
起動優先表示設定	29
設定一覧	37
ダイヤル表示選択	34
テーマ設定	31
バージョン表示	32
発信回線設定	33
ユーザメロディ設定選択	30

【ラ行】

履歴	10、11
----	-------

【ワ行】

ワンタッチ	10、11、15
電話発信	45

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  **0120-970413**

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  **0120-248995**

受付時間 9：00～17：00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2021 NNTTEAST・NTTWEST

